

「地産地消の仕事人」の一覧

(敬称略・都道府県順)

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
北海道	札幌市	ぬきた けいいち 貫田 桂一	男 個人事務所「ヌキタ・ロフィスト」
青森県	弘前市	なかむら もとひこ 中村 元彦	男 青森県特産品センター 理事長
岩手県	盛岡市	ささき ひろし 佐々木 廣	男 株式会社 J Aシンセラ 取締役常務
岩手県	宮古市	しもくぼ こうき 下窪 廣輝	男 ミニ産直農家の会 会長
宮城県	仙台市	みやじ のりこ 宮地 徳子	女 LOHAS 環境共生産業創出型くらしづくり会議
秋田県	大館市	なりた しんいち 成田 伸一	男 あきた北農業協同組合 とれたて旬菜館店長
秋田県	大館市	いしがき かずこ 石垣 一子	女 陽気な母さんの店友の会 副会長
秋田県	みたねちよう 三種町	いずみ まきこ 泉 牧子	女 秋田やまもと農業協同組合 営農生活部ふれあい課長
山形県	上山市	えんどう さいきち 遠藤 宰吉	男 ならげ 榎下百姓園 代表
福島県	猪苗代町	やまぎわ ひろみ 山際 博美	男 社団法人全日本司厨士協会関東総合地方本部福島県 本部会長 (ヴィラ・イナワシロ 総料理長)
茨城県	つくば市	はせがわ ひさお 長谷川久夫	男 株式会社みずほ 代表取締役社長
茨城県	かみすし 神栖市	はら のりこ 原 範子	女 鉾田地域いきいき女性の会 会長
茨城県	水戸市	もとほし しゅうじ 本橋 修二	男 茨城県農業総合センター 水戸地域農業改良普及セン ター長
栃木県	都賀町	なかだ ともこ 中田 智子	女 都賀町立学校給食センター 管理栄養士
群馬県	前橋市	しだ としこ 志田 俊子	女 NPO法人群馬の食文化研究会 理事長 (明和学園短 期大学 客員教授)
千葉県	鴨川市	しみず ひろし 清水 宏	男 鴨川市農林漁業体験交流協会 事務局長
東京都	新島村	すがい きよ 須貝 紀代	女 東京島しょ農業協同組合新島店 農産物直売部会長
長野県	茅野市	ふじき のりひこ 藤木 徳彦	男 フランス料理店 エスポワール オーナーシェフ
静岡県	静岡市	うんの ふみこ 海野フミ子	女 J A静岡市女性部販売所 アグリロード美和 代表
新潟県	佐渡市	わたなべ あきこ 渡辺 明子	女 御宿「花の木」経営
新潟県	新潟市	もろほし やすえい 諸橋弥須衛	男 農家レストラン「弥次郎」経営
新潟県	新潟市	うえすぎ れいこ 上杉 玲子	女 新潟市立大形小学校 栄養教諭
富山県	高岡市	うらかみ せつこ 浦上 節子	女 J A高岡 審査役

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
石川県	小松市	稲葉 一男 <small>いなは かずお</small>	男 J Aあぐり 産直生産部会長
石川県	金沢市	三島 一浩 <small>みしま かずひろ</small>	男 (株)J Aアグリライン石川 肥料資材部長 (資材・J Aグリーン担当)
福井県	越前市	大瀧 宏之 <small>おおたき ひろゆき</small>	男 武生青果株式会社 専務取締役
福井県	福井市	義元 孝司 <small>よしもと たかし</small>	男 アジチファーム 代表
愛知県	大府市	鈴木 忠由 <small>すずむら ただよし</small>	男 株式会社げんきの郷 代表取締役社長
滋賀県	多賀町	西澤 章 <small>にしざわ のり</small>	女 多賀町産直組合 会員、小林グループ元会長
京都府	長岡京市	藤井 予旨子 <small>ふじい よしこ</small>	女 長岡京市地産地消推進協議会副会長
兵庫県	神戸市	白井 操 <small>しらい みさお</small>	女 白井操クッキングスタジオ 主宰
兵庫県	神戸市	保田 茂 <small>やすだ しげる</small>	男 兵庫農漁村社会研究所 代表
兵庫県	三木市	松原 平昭 <small>まつばら ひらあき</small>	男 ようしょう会 会長
奈良県	五條市	泉澤 ち多子 <small>いずさわ ちたこ</small>	女 手づくりハムのばあく 代表
奈良県	東吉野村	松田 仁 <small>まつだ ひとし</small>	男 東吉野村立学校給食センター 学校栄養職員
奈良県	奈良市	勝本 吉伸 <small>かつもと よしのぶ</small>	男 オフィスシンセニアン 代表
和歌山県	紀の川市	畑 敏之 <small>はた としゆき</small>	男 紀の川市環境保全型農業グループ 会長
島根県	雲南市	須山 一 <small>すやま はじめ</small>	男 雲南農業協同組合 営農マーケティング事業部 産直事業課長
徳島県	石井町	中野 統夫 <small>なかの つねお</small>	男 農産物直売所「百姓一」代表 <small>ひやくしやういち</small>
福岡県	宗像市	森 千鶴子 <small>もり ちづこ</small>	女 フリーライター (森の新聞社)
福岡県	朝倉市	久保 ヨシエ <small>くぼ よしえ</small>	女 学校給食生産者グループ「竹ん子会」 会長
佐賀県	多久市	福山 隆志 <small>ふくやま たかし</small>	男 多久市学校給食センター 学校栄養職員
長崎県	大村市	山口 成美 <small>やまぐち なるみ</small>	男 有限会社シュシュ 代表取締役
熊本県	水俣市	田畑 和男 <small>たばた かずお</small>	男 J Aあしきた サラたまちゃん部会 部会長
大分県	中津市	上永 栄 <small>かみなが さかえ</small>	男 学校給食食材生産組合 代表
宮崎県	都城市	坂元 順子 <small>さかもと じゆんこ</small>	女 高崎町農産加工センター事業協同組合 理事長
鹿児島県	霧島市	外山 澄子 <small>とやま すみこ</small>	女 霧島市立舞鶴中学校 栄養教諭
沖縄県	名護市	比嘉 雅貴 <small>ひが まさき</small>	男 「道の駅」許田やんばる物産センター 取締役支配人兼駅長 <small>きよだ</small>

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
北海道	札幌市	<small>ぬきた けいいち</small> 貫田 桂一	個人事務所「ヌキタ・ロフィスド」 (元ホテル料理長)
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・食と観光を活かした地域づくり ・ご当地名物&特産品の開発指導 		<取組の概要> <p>ホテルの料理長として培った食、農に関する知識をもとに、道内の農産物の生産地を訪ね歩き、地域の食材のよさを活かした地産地消メニューづくり（「貫田シェフ特製駅弁（札幌駅）」、「根室さんまカレー丼（イベントメニュー）」、地産地消特製おせち（三越札幌店）など）を行っている。また、地産地消に係る様々な活動への指導・助言や、年 20 回以上にわたる講演、テレビ出演や雑誌への掲載等による地産地消の普及活動など、食を核とした地域振興・地域づくりに貢献している。</p>	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
青森県	弘前市	<small>なかむら もとひこ</small> 中村 元彦	青森県特産品センター 理事長
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・農産物加工 ・消費者との交流 		<取組の概要> <p>アンテナショップ「青森県特産品センター」の理事長として、県内各地のふるさと食品の販売に当たり、売れ筋や消費者ニーズの情報収集を行うほか、津軽地域在来のとוגがらし「清水森ナンバ」のブランド化に向けた研究組織「在来津軽『清水森ナンバ』ブランド確立研究会」の代表として中心的役割を担うなど、地域特産品のブランド化をめざして活動。また、(社)青森県ふるさと食品振興協会では、アドバイザーとして、加工グループ等の商品開発等の助言・指導や地産地消推進事業の企画に当たっている。</p>	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
岩手県	盛岡市	<small>ささき ひろし</small> 佐々木 廣	株式会社 JAシンセラ 取締役常務
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・学校給食 ・農産物加工 ・消費者との交流 ・食育・農工商連携 		<取組の概要> <p>県内最大級の売り上げを誇る農産物直売所「サン・フレッシュ都南」等を経営し、地場農林水産物の提供のほか、県内の他産地との交流、地元の加工業と連携した「もちモチシリーズ」などの地産地消商品開発、知的障害者施設との商品開発による雇用促進など、様々なアイデアによって、地産地消を核とした地域活性化を図っている。また、学校給食については、町の学校給食共同調理場（3000 食）に対し、町内産を最優先とした食材を全量供給する体制の構築を実現させた。</p>	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
岩手県	宮古市	<small>しもくぼ こうき</small> 下窪 廣輝	ミニ産直農家の会 会長
<ノウハウや知見を有する領域> ・農産物直売所		<取組の概要> 農業者 車の運転できない人や、日中買い物に行けない人でも利用できる産直施設として、市内中心部の商店街の空き店舗を活用して、平成 20 年に産直施設「ミニ産直農家」を設立。顧客とふれあえる「地域の八百屋さん」を目指して中心的に活動している。前職においても、数年来検討されていた産直施設「産直やませの丘」の立ち上げを実現させ、地元漁協との調整を行い海産物の取扱を軌道に乗せたり、地域初となる産直施設間交流を行うなど体制整備に貢献した。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
宮城県	仙台市	<small>みやじ のりこ</small> 宮地 徳子	LOHAS 環境共生産業創出型くらしづくり会議 (フードコーディネーター)
<ノウハウや知見を有する領域> ・農産物直売所 ・学校給食 ・農産物加工 ・消費者との交流 ・食育		<取組の概要> フードコーディネーターとして、県の重要な作物である大麦や県産農産物の生産振興と消費拡大を目的に、県庁のレストランに新メニュー「麦とろ御前」を創作したり、名取三越店「食材王国みやぎふれあいコーナー」でイベントを開催したりするなど、地元の食材にこだわったメニュー創作、パッケージデザイン、イベント企画・開催、マスメディアを利用した PR などを手がけ、販路拡大へ導いている。また、消費者向けセミナーやラジオ番組などでも活躍し、地産地消の推進と情報発信を行っている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
秋田県	大館市	<small>なりた しんいち</small> 成田 伸一	あきた北農業協同組合 とれたて旬菜館店長
<ノウハウや知見を有する領域> ・農産物直売所 ・学校給食 ・消費者との交流		<取組の概要> 農産物直売所店長 出荷者 269 名、販売額 1 億 7000 万円（平成 19 年度）の農産物直売所「とれたて旬菜館（あきた北農業協同組合）」の店長として活躍。直売所においては、地場野菜の販売、消費者を対象とした各種講習会、学校給食への野菜の供給などを行うほか、地元のイオンにインショップを出店している。直売所の立ち上げから携わり、販売額を H15 開店時の 2 倍近くまで増加させた。店舗を新装開店して、休憩交流スペースやベーカリーコーナーを設置し充実化するなど、取組の中心的存在として積極的に活動している。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
秋田県	大館市	いしがき かずこ 石垣 一子	陽気な母さんの店友の会 副会長
<ノウハウや知見を有する領域> ・農産物直売所 ・農家レストラン等		<取組の概要> 農業者 農家の女性達で、農産物に付加価値を付けて農業経営の一翼を担おうと、平成 13 年に出資金を集めて店を開店。地域の婦人会など女性農業者 88 名による会を結成し、直売・宅配や食堂・加工活動を実施している。売り上げは県内 2 番目の規模にまで成長。 会の副会長としてリーダー的役割を果たすほか、中山そばの会会長、県のグリーンツーリズムの役員なども務め、直売・食堂・体験交流などにおいて、メニューづくりや人材育成、体験交流活動などを企画している。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
秋田県	三種町	いずみ まきこ 泉 牧子	秋田やまもと農業協同組合営農生活部ふれあい課長
<ノウハウや知見を有する領域> ・農産物直売所 ・学校給食 ・農産物加工 ・消費者との交流 ・食育		<取組の概要> 地元の安全・安心な食材を使用して手作りの米粉パンや弁当を販売する、JA によるコンビニ「JA ンビニ」の仕掛け人。子供達に伝統食づくりを教えるなど地域で活躍する伝統食の達人「グランママシスターズ」制度を発足し、農家の女性に活躍の場を作った。地元でとれた農産物を子供達に食べさせたいとの思いから、各町村の教育長会議に出席し、学校給食への地場農産物の導入を実現。消費者ニーズを捉えた安全で良質な農産物の提供、食育、伝統食の復興と郷土料理の新たな開発等に力を入れ、広く活躍している。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
山形県	上山市	えんどう さいきち 遠藤 宰吉	ならげ 檜下百姓園 代表
<ノウハウや知見を有する領域> ・農産物直売所 ・消費者との交流		<取組の概要> 農業者 平成 11 年、遠藤氏の野菜作りに共感した檜下地区の高齢農業者とともに、遊休地の利用、生産者と消費者の交流、環境保全を目的として約 10 人で百姓園を結成し、年間 100 種類を超える農産物の対面販売を実施しているほか、市内有名旅館や学校給食、保育園に野菜を提供。旅館には自ら配達し、現場や消費者のニーズを聞いて対応するほか、保育園食育活動として野菜もぎ取り体験を無料で受け入れ、「畑の先生」として活躍するなど、生産者として地道な地産地消活動に取り組んでいる。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
福島県	猪苗代町	やまぎわ ひろみ 山際 博美	社団法人全日本司厨士協会関東総合地方本部福島県本部会長（ヴィラ・イナワシロ 総料理長）
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・学校給食 ・農産物加工 ・消費者との交流 ・食育 		<取組の概要> <p>県内旅館、ホテルにおける地産地消メニュー開発に携わるなど、県産農林水産物の理解促進や、宿泊施設の地産地消に対する意識向上に貢献している。また、「あいづのこだわり食材普及推進協議会会長」として、消費者、実需者（外食、ホテル・飲食等）を対象とした会津地方の伝統野菜等の調理法を紹介するセミナー開催や、DVD「あいづのこだわり食材 100 選」作成に尽力。生産者と加工業者、または学校給食関係者とのパイプ役を務めながら、地元食材を活用した料理講習会講師としても活躍している。</p>	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
茨城県	つくば市	はせがわ ひさお 長谷川 久夫	株式会社みずほ 代表取締役社長
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・消費者との交流 		<取組の概要> <p>プロ意識の農業経営者の育成を目的に農産物直売所「みずほの村市場」を設置。再生産価格に基づく農産物の販売価格を設定するシステムを確立し、直売でも安定した農業所得を確保できるプロ農業経営者の育成に尽力。また、農業経営者会「みずほ農業経営者の会」と消費者会員「消費者みずほの会」の双方を組織化し、モニター会議で農業者と消費者が対等に話し合えるシステムも構築した。このほか、そば打ちや野菜の収穫等の各種体験イベントを行い、農業の理解促進や地域活性化を図っている。</p>	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
茨城県	かみすし 神栖市	はら のりこ 原 範子	鉾田地域いきいき女性の会 会長
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物加工 ・消費者との交流 		<取組の概要> 農業者 <p>地域の特産品であるピーマンの栽培、栄養、料理等について地元の子供達の理解を促進するため、紙芝居作成実行委員会を立ち上げ、ピーマンに関する紙芝居「ピーマンものがたり」を作成・上演している。また、出前ピーマン料理講習会を行い、調理実習を通じて子供達に地産地消の大切さ等を教えるとともに、ピーマン嫌いな人にも食べてもらえるよう、ピーマンの料理や加工品を開発。さらに、地産地消に取り組む農業後継者に対して研修会等で得た情報を発信し、情報の共有化に取り組んでいる。</p>	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
茨城県	水戸市	<small>もとほし しゅうじ</small> 本橋 修二	茨城県農業総合センター 水戸地域農業改良普及センター長
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・農産物加工 ・消費者との交流 		<取組の概要> <p>普及センター長、専門技術指導員等として、農産物直売や農産物加の組織や経営体の育成、商品開発、販売活動等について、活動支援・助言するとともに、地産地消活動を支援する普及指導員を育成。</p> <p>新治村（現土浦市）において、農産物直売組織への活動計画作成等の助言、そばの消費と交流活動を行う「にいはりの味研究会」の育成により、交流施設「小町の館」を核とした地産地消型そば産地づくりに貢献した。</p>	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
栃木県	都賀町	<small>なかだ ともこ</small> 中田 智子	都賀町立学校給食センター 管理栄養士
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食 		<取組の概要> <p>青果商組合との役割分担、生産者の納入条件の遵守、年間統一価格による契約、関係者の相互理解などにより、学校給食における地場農産物の安定供給体制を整え、町内産の農産物を学校給食で利用。毎月 19 日を「食育の日献立」とし、町内産農産物を 3 品以上活用した給食の献立を作成・提供するとともに、地域農産物のコメントを付けた「給食だより」等でも広報している。このほか、生産者と児童・生徒が交流する農業体験や交流給食等を企画・実施している。</p>	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
群馬県	前橋市	<small>した としこ</small> 志田 俊子	NPO 法人群馬の食文化研究会 理事長（明和学園短期大学 客員教授）
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食 ・農産物加工 ・消費者との交流 ・地場農産物の流通 ・伝統郷土食 		<取組の概要> <p>ぐんま地産地消県民運動推進会議委員などの公職を務めるほか、地域の食と農と健康及び教育に関する諸問題の調査研究や普及等を目的とした NPO 法人「群馬の食文化研究会」理事長として生産者、加工業者、流通業者、消費者などの連携のもと、地域に根ざした食文化の再構築に向けた活動を進めている。また、「群馬の食事」など地域の食に関する執筆や群馬の粉食文化「おきりこみ」等について講演し、地域の食文化の発展に尽力している。</p>	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
千葉県	鴨川市	<small>しみず ひろし</small> 清水 宏	鴨川市農林漁業体験交流協会 事務局長
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・農産物加工 ・消費者との交流 		<取組の概要> 「みんなみの里」にある農産物直売所において、地域物産紹介コーナーを設置し、鴨川ブランドをPR・販売するとともに、郷土料理レストランで提供される鴨川の旬の食材を活かした郷土料理の開発研究を行っている。 また、長狭米やエコいちごなどの地元農産物を活かし、米粉スイーツなどの開発・販売を手掛けるとともに、農漁業者と加工製造業者が新たな産品づくりに取り組むため、異業種交流の場の開設等も行っている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
東京都	新島村	<small>すがい きよ</small> 須貝 紀代	東京島しょ農業協同組合新島店農産物直売部会長
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・学校給食 ・消費者との交流 		<取組の概要> 農業者 農協の直売部会長として、離島（新島）での地産地消の拡大に貢献しており、イベント型朝市の開催のほか、出荷品目の少ない秋から冬にトマトなどの新規作物の導入を進め、直売所の品揃えの充実を図るとともに、地場農産物を活用した郷土料理研究会を組織し、郷土料理の普及・伝承に携わった。 また、島内産農産物の学校給食等への出荷を進めるため、部会員に積極的に給食等への出荷を働きかけるとともに、給食の需要量に応じた計画生産、出荷ルールの作成等に尽力した。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
長野県	茅野市	<small>ふじき のりひこ</small> 藤木 徳彦	フランス料理店 エスポワール オーナーシェフ
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物加工 ・消費者との交流 		<取組の概要> 地元食材にこだわったレストランを経営するとともに、長野県内各地で地域食材を利用したメニューづくりや料理講習会を多く手掛ける。また、「フレンチで味わう 信州12か月」を出版し、地域に根ざした食の発信をしている。 池田町農産物加工組合「カモミールの会」が地元農産物を使用したレストラン「ビストロ カモミール」を開業する際に、メニューの作成、地元産豚肉の加工、流通ルートの確立を指導するとともに、加工品づくりについてアドバイスした。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
静岡県	静岡市	うんの ふみこ 海野 フミ子	J A静岡市女性部販売所 アグリロード美和 代表
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・農産物加工 ・消費者との交流 		<取組の概要> 農業者 J A女性部のリーダーとして、農村女性の活動の場となる農産物直売所の設立に携わる。設立後は代表として、直売所の品揃えや商品開発に深く関与しており、地場農産物を活かした「生消費言弁当」を開発・販売するなどにより、売上高の上昇などを実現。 また、生産者と消費者の交流事業である「生消費言倶楽部」の活動のリーダーとして、生産者と消費者が共同でじゃがいもの植付・収穫などを行う農作業体験やイベント「生消費言フェスタ」の企画・運営に携わっている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
新潟県	佐渡市	わたなべ あきこ 渡辺 明子	御宿「花の木」経営
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物加工 ・食堂・宿泊施設の経営 		<取組の概要> 民宿と食堂の経営を通して、佐渡の農産物等（野菜、魚介類等）を使った料理を提供している。とりわけ、島内に古来から多く自生しているヤブツバキの油に注目し、非営利任意団体「椿姫の会」を立ち上げ、昔ながらの製法で絞り出された生油を商品化。民宿等で提供する料理に使用するだけでなく、小売販売に向けた改良を進めている。また、ヤブツバキの収穫を地域住民に委託することにより、住民の農業への参画や高齢者の雇用創出に貢献している。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
新潟県	新潟市	もろはし やすえい 諸橋 弥須衛	農家レストラン「弥次郎」経営
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・学校給食 ・農産物加工 ・消費者との交流 		<取組の概要> 農業者 農産物直売所（J A新潟市ほほえみ産直広場）開設に関わるとともに、直売所代表として、作物の計画的作付けと参加農家間の出品調整などについて、直売所の経営が軌道に乗るまで尽力した。 野菜の収穫体験等のほ場提供やビオトープの設置により、小学生、料理専門学校学生、生協関係者等などを対象として、農業に対する理解促進に努めている。また、農家レストラン「弥次郎」において、自家生産の米や野菜を使った地産地消メニューを提供している。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
新潟県	新潟市	<small>うえすぎ れいこ</small> 上杉 玲子	<small>おおがた</small> 新潟市立大形小学校 栄養教諭
<ノウハウや知見を有する領域> ・学校給食		<取組の概要> 学校給食で地場農産物を用いた給食メニューを提供するだけではなく、オール地場産野菜の「夏野菜カレー」などの交流給食会の企画・提案や授業で地場農産物などの説明も行うことにより、児童や保護者に地産地消の良さなどを理解させている。 また、前任の小学校で「自給率とフードマイルと環境保全」をテーマに講義し、児童や保護者、学校、地域が一体となって食料自給率や食の安全を考えることにより、子供達に地産地消の良さを理解させ、児童や保護者に食生活の改善を考えさせている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
富山県	高岡市	<small>うらかみ せつこ</small> 浦上 節子	J A高岡 審査役
<ノウハウや知見を有する領域> ・農産物直売所 ・農産物加工		<取組の概要> 「畑でパート！自家菜園で 50 万円運動」と称し、J A女性部員に直売組織への参加を誘導し、女性部を核とした大規模な農産物直売組織の設立に貢献した。また、直売組織内で農産加工グループを育成し、数多くの農産加工品を商品化するとともに、直売所の集客力向上に結びつけている。 旬の野菜を使った 20 種類のミニ井「とことん高岡井」を考案し、地元農産物のおいしさをPR。また、市内小学生を対象とした子ども農業体験教室を企画・実施している。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
石川県	小松市	<small>いなは かずお</small> 稲葉 一男	J Aあぐり 産直生産部会長
<ノウハウや知見を有する領域> ・農産物直売所		<取組の概要> 農業者 専業農家から高齢者、家庭菜園を営む者まで幅広い生産者に、農産物直売所（J Aあぐり）への出荷を奨め、直売所の売上高の上昇や品目数の拡大などを実現（0.9 億円→3.8 億円）。 また、率先して売り場に出て消費者との交流に努め、生産者と消費者とがお互いを理解する「知産知消 <small>ちさんちしょう</small> 」を提唱しながら地産地消を推進するとともに、消費者ニーズにあった地場農産物を生産するため、定期的な生産、販売計画の会議による品揃えや出荷量の調整を行っているほか、残留農薬の自主的検査にも取り組む。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
石川県	金沢市	<small>みしま かずひろ</small> 三島 一浩	(株)JAアグリライン石川 肥料資材部長 (資材・JAグリーン担当)
<ノウハウや知見を有する領域> ・農産物直売所 ・農産物加工		<取組の概要> JAグリーン松任(まいどさん市場)などJAが運営する4か所の直売所(生産資材併設)の運営を指導。特に3店舗では初代店長として、直売所開設から運営が軌道に乗るまで、現場の責任者として運営全般の指導を行いJAが取り組む物流合理化事業に伴う、「生産資材併設型直売所請負人」というべき活躍をしている。また、「メロンの里復活プロジェクト」を立ち上げ、昔生産されていたマクワウリなどの生産を増やし、食べ方を説明しながら直売所で販売したところヒット商品となり、出荷者の農業所得を向上させるとともに産地の復興・地域の活性化に貢献した。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
福井県	越前市	<small>おおたき ひろゆき</small> 大瀧 宏之	<small>たけふ</small> 武生青果株式会社 専務取締役
<ノウハウや知見を有する領域> ・地場農産物の流通 ・学校給食 ・消費者との交流		<取組の概要> 園芸作物の価格を安定させるため、市場が中心となって、地場農産物を地元量販店で販売する新しい流通体制を考案。関係者間の調整と販路の開拓に奔走し、量販店との予約相対取引による地場農産物の流通システム「旬菜、com ネット」を構築することにより、地域農業の振興や地産地消に貢献した。 また、ホームページによる生産者の情報発信、ほ場見学バスツアー、収穫体験など生産者と消費者を結びつける取組を次々と企画・実践し、消費者へのPRに努めている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
福井県	福井市	<small>よしもと たかし</small> 義元 孝司	アジチファーム 代表
<ノウハウや知見を有する領域> ・農産物直売所 ・学校給食 ・農産物加工 ・消費者との交流		<取組の概要> 農業者 自家生産のコシヒカリから米粉をつくり、米粉パンやお米麺を製造・販売している。また、米粉については、地元の加工グループと連携して地場農産物を使った米粉パン「本郷イチジクパン」を商品化し、直売所や病院の売店で販売するほか、米粉を利用した菓子等の開発販売も行っている。 製造しているお米麺は福井県の学校給食で利用されるとともに、子供たちを対象にした米粉パンづくりや農業体験を行っている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
愛知県	大府市	<small>すずむら ただよし</small> 鈴木 忠由	株式会社 げんきの郷 代表取締役社長
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・消費者との交流 		<取組の概要> 農業者 「(株)げんきの郷」の代表取締役社長として、農産物直売施設「はなまる市」や食材供給施設等を備える総合的な都市農村交流施設「JAあぐりタウン げんきの郷」を管理運営している。 「はなまる市」では、生産者組織を育成するとともに、内部リーダーの育成や関係機関、地域組織との調整により、売り上げ約20億円の直売所への発展に貢献している。 また、カーネーション農家としての知識を活かし、花卉の栽培技術指導等を行っている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
滋賀県	多賀町	<small>にしざわ のり</small> 西澤 章	多賀町産直組合
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・学校給食 ・食農教育 		<取組の概要> 農業者 昭和 59 年頃より地元の小学校に働きかけ、大根や水稻などの体験学習を通じて食の大切さ・農の大切さを学習する機会を提供している。 また、小学校へ減農薬や無農薬で栽培した野菜や米などを供給し、①学校側への要望調査、②地場産野菜を活用できるような入札の仕組みを町へ提案、③調理師や栄養士と生産者・町の間関係の構築等に尽力し、学校給食への地場農産物の利用定着に貢献。 このほか、地元企業食堂に 20 年程前からネギなどの野菜を供給している。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
京都府	長岡京市	<small>ふじい よしこ</small> 藤井 予旨子	長岡京市地産地消推進協議会 副会長
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食 ・農産物加工 ・消費者との交流 		<取組の概要> 農業者 郷土料理伝承活動として生活研究グループで郷土料理講習会を開催するほか、地場農産物を使ったレシピ集「ふるさと乙訓の味」を刊行している。また、長岡京市「ふれあい朝市実行委員会」の発起人となり会長に選ばれ、地元の農産物を市民へ直接販売することにより、生産者と消費者の交流を深めるとともに地元産野菜の魅力をPRしている。 さらに、地域の特産として新たに出荷され始めた花菜の料理 22 品目を開発・完成させ、「長岡京市の花菜」の普及にも貢献。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
兵庫県	神戸市	<small>しらい みさお</small> 白井 操	白井操クッキングスタジオ 主宰
<ノウハウや知見を有する領域> ・消費者との交流 ・調理指導		<取組の概要> 料理研究家 ひょうご「食」担当参与及び「ごはんを食べよう国民運動」の「ゴーゴー組」の先生に就任し、料理教室の開催等により県産農林水産物をPRしている。また、キリンビールと連携し、県内の農協や漁協等を訪問し、地域の自慢の食材とその食材を使ったオリジナル料理を紹介している。さらに、環境にやさしい農業の取組やこれらの農業で生産される商品を贈答用カタログ等で紹介することにより、生産者と消費者の橋渡しを行っている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
兵庫県	神戸市	<small>やすだ しげる</small> 保田 茂	兵庫農漁村社会研究所代表（神戸大学名誉教授）
<ノウハウや知見を有する領域> ・消費者との交流 ・講演活動		<取組の概要> ひょうご「農」担当参与及び「ごはんを食べよう国民運動」の「ゴーゴー組」の校長に就任し、ごはんを中心とした日本型食生活の大切さや地産地消を進める重要性を講義。消費者に兵庫の食材をより身近に感じてもらい、家庭における地場産農林水産物の活用にも貢献している。また、地産地消は、農家の「やる気」と消費者の「農家を協力する気持ち、応援する気持ち」の両方があって初めて進むという考えのもと、地産地消をテーマとした講演を精力的に行っている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
兵庫県	三木市	<small>まつばら ひらあき</small> 松原 平昭	ようしょう会 会長
<ノウハウや知見を有する領域> ・農産物直売所		<取組の概要> 農業者 「メイド・インよかわを作ろう」の理念の下、農業振興拠点「山田錦の館」の中の農産物直売所の責任者として、生産農家の育成やイベント企画に尽力。特に、ようしょう会独自の生産拡大支援事業の優良種苗購入支援制度の企画・立案に携わり、「1本10円のキャベツ苗」を実現させた。また、POSシステムの分析を活用し、生産農家への販売目標等を設定して会員農家の生産意欲向上を図るとともに、売れ筋商品の勉強会・講習会も随時開催し、会員農家の資質向上を行っている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
奈良県	五條市	いずさわ ちるこ 泉澤 ちる子	手づくりハムのばあく 代表
<ノウハウや知見を有する領域> ・農産物直売所 ・農産物加工 ・消費者との交流		<取組の概要> 農業者 塩や香辛料以外の材料のほとんどを地元産にこだわった、保存料無添加のハムやベーコンなどの加工活動を続け、地場流通を主体とした販売活動で地産地消を実践するとともに、地域の生産者や加工製造業者の連携を図り、直売所を立ち上げるなど、小規模農家が自立しつつ地産地消に取り組むモデルを作り上げた。 また、「ばあくだより」による情報発信やソーセージ作りの体験等により、田舎の魅力や地域農業への理解を深めた。さらに、消費者と生産者だけでなく、異業種を含めた交流イベントである「食の乱反射」の実行委員会では中心的な役割を担っている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
奈良県	東吉野村	まつだ ひとし 松田 仁	東吉野村立学校給食センター 学校栄養職員
<ノウハウや知見を有する領域> ・学校給食		<取組の概要> 地元の高齢農家が収穫した食べきれないほどの農産物を学校給食へ活用することを提案し、関係者間の調整や流通体制を確立させ、村内の小中学校等へ地元の旬の農産物を使ったメニューを提供している。現在では食材の50%を地元農家から調達している。 また、給食以外でも「竹御飯」や「鮎の炭火焼き」体験を行うなど、地元の食材を使用した食育の機会を提供している。さらに、子供に田畑での収穫体験をさせるとともに、子供に東吉野村「食の安全・安心」マップを作成させるなどの企画も行っている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
奈良県	奈良市	かつもと よしのぶ 勝本 吉伸	オフィスシンセニアン 代表
<ノウハウや知見を有する領域> ・農産物直売所		<取組の概要> コンサルタント 農産物直売所「あすか夢販売所」の開設に当たり、運営方針の策定や出品規約の作成等に携わる。開設後は店長に就任し、「新鮮で品質の良い農産物の提供」を運営上の基本に据えて地元農産物の販売を拡大させるとともに、出品上の技術指導と栽培上の助言を行っている。また、直売所から納入可能な農産物の選定や納入農家の手配等を行い、学校給食への地元農産物の納入に携わる。 さらに、直売所の課題解決のための助言や直売所への出品農家を対象とした講習会等の講師をしている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
和歌山県	紀の川市	はた としゆき 畑 敏之	紀の川市環境保全型農業グループ 会長
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・学校給食 ・消費者との交流 		<取組の概要> 農業者 地域の小学校における農業体験学習での関わりをきっかけとして、学校給食に食材を提供する際に、必要な農産物と数量を生産者に割り振ることにより、農産物の量の確保について尽力した。また、「農産物を通じて命を実感してほしい」と農業体験学習として小学校3校を担当し、種まきから収穫まで学年にあった指導を行っている。 さらに、紀の川市合併後は、食べ物を地域で消費することのみならず、地域の有機資源（稲わら・もみがら・鶏糞・草等）を、地域で活用する広い「地産地消」に取り組んでいる。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
島根県	雲南市	すやま はじめ 須山 一	雲南農業協同組合 営農マーケティング事業部 産直事業課長
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 		<取組の概要> JAの担当者として、奥出雲産直推進協議会の結成から、企画・運営・実践を行う。JAと14カ所の直売所をネットワーク化し、販売情報システムなどの確立に貢献。また、保冷車で管内の集荷所を巡回集荷させることで農産物の鮮度保持と高齢者等の出荷をサポートする体制整備に貢献した。さらに、サテライトショップ（大消費地の量販店内のインショップ）では、自ら集荷販売を実践し、販売を軌道に乗せるとともに、消費者ニーズを生産者に的確に伝達し、販売額の増加と生産者の意欲向上に貢献。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
徳島県	石井町	なかの つねお 中野 統夫	農産物直売所「百姓一」代表
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・消費者との交流 ・農家の意識改革 		<取組の概要> 直売所を設置して農家を活性化させようと、地域の農業者に積極的に呼びかけを行い、徳島県の直売所1号店となる「百姓一」設置に尽力した。直売所設置後は、その中心的存在として、直売所の運営方法などについて会員に提案・助言を行い、会員の意識改革を誘導。会員全員が経営しているという意識まで高め、生産者に活力を与えた。 また、販売においては、消費者の特徴を捉え、口コミで集客を行う販売戦略を展開し、年商2億円の目標を達成した。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
福岡県	宗像市	もり ちづこ 森 千鶴子	フリーライター（森の新聞社）
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・学校給食 ・農産物加工 ・消費者との交流 ・郷土料理の伝承 		<取組の概要> <p>「健康むなかた食育プラン（宗像市食育推進計画）」策定に参画し、地産地消を旗印とした行政・医師会・大学等関係団体によるネットワークの構築に尽力した。</p> <p>農産物直売所「ほたるの里」における地元産食材を活用した健康レシピの作成・配布にあたり、アドバイザーとして参画し、地元農産物の消費促進をPRした。</p> <p>学校給食における学校・家庭・地域の連携事業では、連携推進委員として、地元産食材の活用、生産者・消費者の交流を促進。</p>	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
福岡県	朝倉市	くぼ よしえ 久保 ヨシエ	学校給食生産者グループ「竹ん子会」代表
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食 ・農業体験 		<取組の概要> 農業者 <p>「竹ん子会」設立当初（平成15年）から会長として学校給食への地元農産物供給に携わり、日々の農産物の納入や学校栄養士との連絡調整など、会（会員：16名）の中心として活動し、現在、野菜を小中学校に30～40品目納入している。</p> <p>また、小学校と連携し、子供達を対象とした野菜の栽培・収穫や味噌作り、干し柿作りなどの体験活動を企画・開催し、会員である生産者との協力体制のもと、「食と農のつながり」と「その大切さ」を子供達や地域に積極的に伝えている。</p>	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
佐賀県	多久市	ふくやま たかし 福山 隆志	多久市学校給食センター 学校栄養職員
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・学校給食 ・農産物加工 ・消費者との交流 		<取組の概要> <p>佐賀県学校栄養職員として20年ほど前から学校給食における地産地消の取組の推進に尽力。</p> <p>唐津市浜玉町学校給食における地産地消の取組として、学校給食納入業者との連携のもと、可能な限り野菜を唐津市産、県内産で供給する体制を確立。結果として、平成19年度の唐津市産利用率は61%、県内産利用率は85%にまで向上。</p> <p>現在、県民協働で進める「さが”食と農”絆づくりプロジェクト地産地消推進T」のメンバーとして活躍中。</p>	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
長崎県	大村市	山口 成美 <small>やまぐち なるみ</small>	有限会社シュシュ 代表取締役
<ノウハウや知見を有する領域> ・農産物直売所 ・農産物加工 ・消費者との交流		<取組の概要> 農業交流拠点施設「大村夢ファームシュシュ」の代表として地元農産物の直売や地元農産物を使用したアイス・パン・洋菓子などの加工品開発とともに、地元食材にこだわった農村レストランを運営するなど、多岐にわたる地産地消推進の中心的役割を果たしている。 いちごやぶどう等の収穫体験や収穫した食材を利用したイチゴ大福やスイーツを作る加工体験の受入などにも力を注いでおり、数々の取組は年間 40 万人の来場者を迎えるまでに至っている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
熊本県	水俣市	田畑 和男 <small>たばた かずお</small>	J Aあしきた サラたまちゃん部会 部会長
<ノウハウや知見を有する領域> ・消費者との交流		<取組の概要> 農業者 J Aあしきた「サラたまちゃん」部会（部会員 126 名、54ha）の部会長として、生食（サラダ）用たまねぎを活用した地産地消の推進に尽力。 平成 3 年から学校給食へ向けた玉葱の供給体制構築に力を注ぎ、現在、水俣・芦北管内はもとより熊本市内の小中学校も含め、玉葱約 72 トンの供給量にまで拡大している。 平成 9 年から「サラたまちゃん祭り」を開催。その中で生産者・消費者の交流を積極的に進めている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
大分県	中津市	上永 栄 <small>かみなが さかえ</small>	学校給食食材生産組合 代表
<ノウハウや知見を有する領域> ・学校給食 ・消費者との交流		<取組の概要> 農業者 学校給食への食材供給を目指し、平成 14 年に生産組合を設立。中津市内の小中学校給食向けに野菜の生産し、現在 16 名の会員を組織して、年間 30 トンの野菜を 6 ヶ所の学校調理場（小学校 24 校、中学校 10 校）へ出荷している。 農業体験学習の受入や学校に出向いての野菜の栽培指導などを積極的に実施するなど、学校給食調理場・生産者・地域をつなぐコーディネーターとして活躍するとともに、子供達に地域の食や農業への愛着・理解を根付かせている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
宮崎県	都城市	<small>さかもと しゅんこ</small> 坂元 順子	高崎町農産加工センター事業協同組合 理事長
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・農産物加工 ・消費者との交流 		<取組の概要> 高崎町農産加工センター事業協同組合の代表として、地元生産者や加工業者（約 120 名）と連携し、地元の農畜産物にこだわった商品の販売を行っている。 地元生産者と消費者の交流を深める取組を積極的に行うとともに、当センターを地域における地産地消の活動拠点と位置付け、地元農畜産物を利用した加工品の開発・販売、農産物加工体験の受入や学校への「出張郷土料理教室」などの取組を実践し、常にその中心的役割を果たしている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
鹿児島県	霧島市	<small>とやま すみこ</small> 外山 澄子	霧島市立舞鶴中学校 栄養教諭
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食 ・農産物加工 		<取組の概要> 栄養教諭として、39 年近く地域農産物やその加工品の学校給食への活用を積極的に推進している。 学校給食を通じた地産地消の推進を図るため、学校・家庭・地域の連携を図るコーディネーターとして、地元食材を納める生産組織の育成（59 組織）や地場産物を活用したメニューの開発（溝辺産抹茶と県内産牛乳による抹茶ミルクパンなど）、商品としての定着化などの取組を積極的に実践し、地域における地産地消推進の先駆者的役割を担っている。	

都道府県	市町村	仕事人名	所 属
沖縄県	名護市	<small>ひが まさき</small> 比嘉 雅貴	「道の駅」 <small>きよだ</small> 許田やんばる物産センター 取締役支配人兼駅長
<ノウハウや知見を有する領域> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所 ・農産物加工 ・消費者との交流 ・後継者育成 		<取組の概要> 県立農業大学校や北部農林高校、生産者、加工業者と連携し、地元食材を活用した新商品の開発（アセロラクリームケーキ、北農ブランド豚チャーグーのプレスハムなど）に関して販売側からアドバイスするとともに、新商品を道の駅で販売するなど、3者（北農、生産者、道の駅）の相互協力体制による地産地消の推進に尽力している。 「おきなわ農産物直売所ネットワーク会議」の会長として、18ヶ所の直売所と連携し、直売所を起点とした地産地消を実践。	